

臨床研究の情報公開（オプトアウト情報公開）について

臨床研究 4

研究課題名：「当院における子宮附属器（卵巣・卵管）手術症例の手術成績に関する研究、特に子宮附属器茎捻転症例の手術成績に関する研究」

研究の目的：子宮附属器に対する手術は、主に子宮附属器腫瘍（卵巣または卵管腫瘍、傍卵巣腫瘍等）、子宮附属器の腫大（機能性卵巣嚢胞や卵管瘤水腫・瘤血腫等）や不妊症等の患者様に対して行われる手術であり、当院では、腹腔鏡下手術、及び開腹手術で行っております。また、出血や疼痛のため緊急手術となる場合もあります。

本研究は、子宮附属器の手術を行った患者様の諸々の診療情報（年齢、既往歴、症状、検査値、画像診断、病理診断、術後経過等）を集積し、そのデータを詳細に精査、分析した結果を基に、子宮附属器疾患のより正確な診断と安全で適切な治療の選択に寄与することを目的としています。特に、子宮附属器茎捻転を起こしていた患者様のデータを詳細に分析し、その病態の解明、早期の診断と適切な治療の選択に活かしていくことを目的としています。

対象となる方：当院で子宮附属器疾患の診断で手術療法を行った全ての患者様を対象と致します。

研究の期間：2010年1月から現在までに子宮附属器疾患の診断で手術を行った患者様と致します（データの集積は現在も進行中です）。

研究の方法：上記期間内に当院で子宮附属器疾患の診断となり子宮附属器手術をされた患者様の諸々の診療情報（年齢、既往歴、検査値、画像診断、手術所見、病理診断等）を診療記録より抽出して集計致します。

個人情報の取り扱い：本研究で得られたデータ解析結果の公表（学術講演会での発表や医学雑誌への論文投稿）に際しましては、患者様を特定できないように氏名や住所等の個人情報を完全に伏せ状態で行います。

その他：本研究では、患者様への費用の負担や謝礼はありません。また、本研究にかかわる利益相反もありません。

実施責任者：福島赤十字病院 産婦人科部長 矢澤浩之